

ボランティアの先生を紹介します

岩佐優作先生

岩佐先生は、情報学を学ぶ男子大学生です。

将来は高校の教師を志望しております。ひまわりでのボランティアをはじめた動機は、将来に備えて子ども達と接する機会を作りたいかつたとの事ですが、実際にボランティアをしてみて、「子ども達から学ぶことが沢山あった」と謙虚に話す先生です。

不登校という特別な事情の子ども達への接し方を日々体験することは、教員志望の岩佐先生にとって子ども理解への好機でもあります。

岩佐先生の長所である「優しさ」や「丁寧さ」に徐々に子ども達の心が開かれております。

青葉区生まれ、青葉区在住、特技は謎解きと野球

こんなことします！（活動計画）

●教育相談が始まります

7月末から8月を「教育相談期間」といたします。

これはひまわりに通う子どもたちの保護者の方を対象に、ひまわりでの過ごし方や再登校、学習、進学についてなどなんでも相談を受ける期間です。

保護者からの新たな情報を得て、子どもたちへの支援方法を修正していく機会ととらえています。

●デイキャンプと夜の学校体験

7月に予定していた「バーベキュー大会」とコラボして、「デイキャンプと夜の学校体験」を行います。夕方より、バーベキュー大会でみんなで食事をして、その後虫を探したり、肝試しをしたりして、楽しい1日にしたいと思います。

●ふれあいレストラン

月1回開店する「ひまわりふれあいレストラン」は、親子で調理して、みんなで会食する楽しいランチタイムです。

今回のメニューは「そうめんチャンプル」「サラダ」などです。なお、ひまわりふれあいレストランは、フードバンクかながわの協力を得て実施しています。



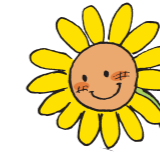
ひまわりの各コースと現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分（ひまわり学園 9:00～12:10）
生徒数：（約）60名 / ボランティア：（約）20名
時程：9時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）
- 通信制 ゲームから教科学習までひまわり目線の指導
指導時間と内容は、本人と相談の上で行います。

ボランティア募集

内容：子どもの見守り、学校事務など
条件：週一回以上勤務可能な方を特に求めています。

*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール
「横浜みどりの学校ひまわり」

ふれあい

学校だより 2024年8月号 No.66

こんな学校があってもいいかも
（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開校した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、13年前に開設されました。

制約と自由の狭間
— 子ども達の葛藤 —

校長 渡辺 正彦

子ども達の自主性を育てることを目標に毎週金曜日を「自主開校の日」と決めて、その日1日の活動は子ども達自身が計画し自由に過ごすことにしました。

不登校の子ども達に学校に行けない理由をたずねると授業中の拘束時間に強い不安感を抱く子どもが多く、それは電車に乗ることに不安を感じるパニック障がいにも似ています。ドアが閉って走り出した電車の空間から自由を拘束されるように子ども達は45分の授業時間（中学は50分）の拘束に不安を感じるようです。そんな不登校の子ども達に自由を担保することはとても大切なことのはずです。

毎週金曜日実施の「自主開校の日」は、自由を希求する本校の子ども達にとって正に「花の金曜日」になるはずでした。しかし、予想外にも実施後数ヶ月を経たある日、子ども達から「自主開校日」の終了を求められました。理由を聞くと「自分達だけで自由に決定して、自由に行動するのは最初はいいと思っていたが意外と大変であり、ことにリーダー役の中学生にとっては負担が大きい」とのことでした。

拘束を嫌い、自由を希求していたはずの子ども達にとって自由を手にした後の自由な行動が負担になり自由より校長の権威に従う方が楽であると感じたようです。自由を手に入れた後に自由の行使に苦慮して結局は権力者に委ねてしまうという、学生時代に読んだ「自由からの逃走」という本の一節を思い出されました。

教育の現場において子どもの自由を担保することはとても大切な事だと思いますが、自由の提供は、子どもの個性や発達段階に応じて意図的に計画的に行うことこそ大切なことであると思います。感受性の高いひまわりの子ども達には、子ども達が与えられた自由を上手く行使して達成感や成就感を得られるような教育的配慮が不可欠であると思います。



こんなことしました! (活動報告)

総会 & 13周年記念会

6月22日(土)しらとり台自治会館をお借りして、総会及び記念会を行いました。地域の方や学校関係者の方、ボランティア、保護者大勢の参加がありました。



総会



三部 青葉台地区
社会福祉協議会会長

木元しらとり台自治会参与
兼自治会長代理



下山本校ひまわり理事長



越沢
さつきが丘東自治会長



本校ひまわり渡辺校長

記念会では、昼食をとりながら話がはずみました。また、卒業生も参加してくれました。皆さんの協力により、とても楽しい時間となりました。



校長先生
喜寿おめでとうございます!



13周年記念会



火・木開校委員会

現在、休校になっている火曜日、木曜日を開校する試みとして、試験的に実施する「火・木開校委員会」です。

委員会に関わる保護者及びボランティアの協力により、6月は、11日(火)と27日(木)を自主開校しました。他の日と違い、参加人数が少ない中、子ども達の自主性にまかせていつもと違うゆったりとした活動になっています。



今年1月のどんと焼きでのバザー

バザー開催に向けて

9月21日(土)に開催予定のひまわりバザーに向けて献品のお願いや準備委員会を設けて実施に向けて計画中です。暑い中での作業ですが、バザー開催に向けて献品の整理を始めました。ボランティアや保護者の皆さんの協力を得て今後も計画を立てて進めていきたいと思ひます。



農園だより

現在は、秋の収穫に向けてサトイモや枝マメやサツマイモの苗を植えました。

【現在販売中】キュウリ、トマト、ミニトマト、ナス、シシトウ、ピーマン、ズッキーニ、インゲンなどなど

【今後の予定】販売中のほかに、オクラやエダマメ、カボチャなど



学校で苦しんでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、理解力が弱い、学習に集中できない、勉強が嫌い、などの子どもを積極的に支援します。支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。体験期間の2週間は無料です。



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。

